

令和5年6月12日

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立山辺小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からの英会話学習の実施により、英語に慣れ親しむことができている。
- ・ALTやEAAが校内にいて、児童に積極的に英語で挨拶をしたり話しかけたりしているので、児童は自然に英語に触れることができる。
- ・第1学年から、ALTやEAAの発音を耳にしているので、英語の時間に話している児童の発音がよく、自然と話している感じが受け取れる。
- ・第1学年から英会話学習を進めることで、抵抗なく外国語や外国の文化に興味を持つ児童が増えている。

#### (4) 学校関係者による評価

##### <児童>

- ・いつも楽しそうな興味を引くような英語の授業をしてくれるので、楽しみにしている。
- ・英会話学習を行うことにより、外国の言葉や文化への興味をもつようになってきた。
- ・話ができるようになって、うれしい。

##### <保護者>

- ・グローバル化に対応し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする力が育ってきている。
- ・家で英語の歌を歌うこともある。発音なども自然と身につけているように感じる。

#### 4. 実施の効果及び課題

- ・1年生から実施することで、英語に抵抗感なく取り組むことができている。低学年の英語に関する活動は年間で10時間だけなので、授業の間がかなり空いてしまうが、児童は活動を楽しみにしている。
- ・足利プランによる10時間の英会話学習の中で、身に付けた力を使ってコミュニケーションを図っている様子が見られ、効果的に能力を伸ばしていると考えられる。一方で、特に5・6年が実施している「英語チャレンジDAY」については、実施時期の検討や内容等について校内研修が必要である。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・現在の取り組みを続けながら、ALTやEAAが校内にいて、日常的に触れあう機会を増やし、英語を使ったコミュニケーションの機会としていく。
- ・他校での授業の様子を参観するなどして、実践的な教員研修を行う。